

0260  
0270  
0280  
0290**健康と身体運動文化 I～IV**  
(バドミントン) ・ 第 1 期：7 月 25 日～7 月 27 日

1 単位 (面接授業 1 単位)

鬼丸正明講師

## 授業の概要と目標

バドミントンの初心者を対象として想定し、バドミントンの基礎技術の習得からはじめて、コンビネーション・プレーを習得し、そしてゲーム（シングルス・ダブルス）のルール、ゲーム戦術を集団的に理解・習得して、ゲームを楽しめるレベルに到達することを授業の目標とする。

クラスを男女混合・経験者初心者混合の 6 つのグループにわけ、コートと用具の準備・整理は学生がグループ主体で行う。授業計画・練習計画は講師が立案するが第 3 日午後の練習は学生がグループごとに立案し実施する。ゲームは第 2 日の午後から行い、第 3 日は各授業時間の後半はグループ対抗のゲームを行う。ゲームの運営は学生が行う。各授業終了時には毎回ミーティングを行い、そこでの議論を記録に残していく。

## 課題の概要

- ・バドミントンの基礎技術、ゲームのルールと戦術の理解と習得
- ・グループを主体とする集団的学習

## 授業計画

## [面接授業]

大学体育館において 3 日間の実技が行われる。

第 1 日 午前：オリエンテーション

授業の進め方、コートと用具の準備・整理の説明、グループ作り  
ストレッチ、フットワーク、ラケット操作

午後：基礎技術の習得（クリア・ドロップ・ヘアピン）

第 2 日 午前：基礎技術の習得（プッシュ・スマッシュ・ドライブ）

午後：サーブ、コンビネーション・プレー

ゲーム（シングルス・ダブルス）ルールの理解

第 3 日 午前：ゲーム戦術の理解・習得

グループ対抗のゲーム（ダブルス）

午後：グループ独自の練習

グループ対抗のゲーム（ダブルス）・総括

## 成績評価の方法

授業の出席率、集団的学習・運営能力を総合的に評価する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] 1 年間に履修できるのは I～IV のうち 1 科目のみ。II は I の単位を、III は II の単位を、IV は III の単位を修得した者に限る。

[備 考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。I～IV と同じ内容の授業を行う。

## 教材等

資料は授業時に配布する。

## その他

運動に適した服装、室内用運動靴を準備する。ラケット、シャトル等の用具は大学で準備してあるが、個人専用のラケットを使用したい学生は持ってきてもらってもかまわない。

季節柄、着替えとタオル、飲料水は多めに準備しておくことが望ましい。

講師は声帯全摘者なので、人工・代替音声等を用いて授業を行う。予め了承の上、参加いただきたい。

0260  
0270  
0280  
0290**健康と身体運動文化 I～IV**  
(バドミントン) ・第2期：8月1日～8月3日

1単位（面接授業1単位）

森敏生教授

## 授業の概要と目標

バドミントンはいろんな年齢やレベルで楽しむことができます。その共通の面白さは、軽いラケットと独特のフライト性能をもつシャトルを介してラリーのなかで相手と多彩な「駆け引き」（戦術）を展開することでしょう。ラケットワーク（ストローク）を磨き、様々なシャトルワーク（ハイクリア、スマッシュ、ドロップなど）が使えるようになることで、「駆け引き」を伴うラリーの面白さが深まっていきます。この授業ではダブルスのゲームを中心にバドミントンの面白さを探求していきます。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

下記授業計画による。

## 授業計画

## [面接授業]

この授業は、大学スポーツ施設において実技を3日間12コマ（30時間）受講する。

1. 受講登録とオリエンテーション  
ねらい・計画と学習の進め方、バドミントンのゲームと基礎技術、アンケート
2. ストロークのテクニク（1）ドロップ・スマッシュ・ハイクリア
3. ストロークのテクニク（2）ヘアピン、アンダーハンド
4. ストロークのテクニク（3）バックハンド
5. 試合の戦術（1）サーブとサーブリターン
6. 試合の戦術（2）前後のゆさぶり・スマッシュにつながる配球
7. ダブルスのフォーメーション（1）サイド・バイ・サイドのポジショニングとコンビネーション
8. ダブルスのフォーメーション（2）トップ・アンド・バックのポジショニングとコンビネーション
9. 練習ゲーム（審判、記録、ゲームの運営の方法）
10. グループ対抗戦 試合の作戦と運営法、ミーティング
11. まとめ（学習を総合的に講評、まとめのレポート）

## 成績評価の方法

定められた受講時間数の出席を要する。「駆け引き」を伴うラリーを味わえる「技能と認識」及びグループワークの取り組みを重視する。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはI～IVのうち1科目のみ。IIはIの単位を、IIIはIIの単位を、IVはIIIの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。I～IVとも同じ内容の授業を行う。

## 教材等

資料は授業時に配布する。

## その他

- ①体育館シューズを用意する。
- ②適宜休息を取りながら進める。ミーティングやミニ講義など知的な学習時間を設ける。
- ③夏期は発汗も多い。水分を小まめにして熱中症の予防に努める。タオル・予備のTシャツなどを準備する。

0260  
0270  
0280  
0290**健康と身体運動文化 I～IV**

1 単位（面接授業 1 単位）

（バドミントン） ・冬期：12月17日～12月19日

桂華麻希講師

**授業の概要と目標**

本授業ではバドミントンの初心者を対象とすることを想定し、バドミントンの基礎技術ならびにルール（シングルス・ダブルス）や用具の取り扱いを理解し、実戦的なゲームからバドミントンの楽しさや、スポーツを行う習慣などを見つめる機会とすることを授業の目標とする。

授業は男女混合・経験者初心者混合のペア、またはグループに分けて行い、コート用具等の準備・整理は学生が主体で行う。第1日目と第2日目は主に基礎技術の習得とミニゲームを行い、第2日目午後と第3日目はリーグ戦を行う。試合ごとにペアやグループを代えて、より多くの学生と交流する機会を持てるようにする。

**課題の概要**

- ・バドミントンの基礎技術、ゲームのルールや用具設置の理解と習得
- ・ペア、またはグループによる活動

**授業計画**

[面接授業]

第1日 午前：オリエンテーション

授業の進め方、グループ作り、コートと用具の説明・準備、ラケット操作、ラリー  
午後：基礎技術の習得（クリア・ドロップ・ヘアピン）  
ミニゲーム

第2日 午前：基礎技術の習得（スマッシュ・サーブ）

ミニゲーム・ルールの理解

午後：ゲーム

第3日 午前：リーグ戦

午後：リーグ戦、総括

**成績評価の方法**

授業の出席率、集団的学習・運営能力を総合的に評価する。

**履修条件及び履修年次**

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] 1年間に履修できるのはI～IVのうち1科目のみ。IIはIの単位を、IIIはIIの単位を、IVはIIIの単位を修得した者に限る。

[備考] 複数の開講期間のうち、種目に限らずいずれかの期間で受講し合格した場合、同年度の他期間の受講は不可。種目の選択はスクーリング受講申込時に行う（多数の場合抽選による）。I～IVとも同じ内容の授業を行う。

**教材等**

資料は授業時に配布する。

**その他**

運動に適した服装（ジャージ等のスポーツウエア）を着用し、室内用シューズを準備すること。ラケット、シャトル等の用具は大学で準備するが、個人のラケットを使用したい場合は持参しても構いません。また水分補給ができるように飲料水を持参しておくことが望ましい。